

桂川だより

令和3年度  
第2回学校評価特別号  
京都市立桂川小学校  
校長 小泉 賢明



第2回子ども育みアンケートの結果から

学校教育目標  
自ら考え、判断し、行動する子の育成  
～自分意識をもって行動し、  
よりよい未来の創り手を育てる教育の創造～

めざす子ども像  
か 感謝する子、感謝される子  
つ つよく、しなやかな心と体の子  
ら らしさを認め、つながりを大切にする子  
が 学習に進んで取り組む子  
わ わかるように自分の言葉や方法で伝え合う子

アンケート結果集計表

質問ごとの回答の「そう思う」を○,「大体そう思う」を●,「あまりそう思わない」を△,「そう思わない」を▲で表示しています。めざす子ども像（か・つ・ら・が・わ）ごとにまとめました。矢印は、前回と比べて5ポイント差がある場合に表示しています。質問内容を変更した項目については、昨年度よりさらに具体的な内容にし、より客観的に評価を行えるようにしました。

2月に実施いたしました第2回子ども育みアンケートの結果をお知らせいたします。

京都市の学校教育の重点、及び、本校の学校教育目標に照らし合わせた項目を設定し、「保護者」「児童」「教職員」それぞれの自己評価という形でのアンケートとしています。3者がそれぞれに自分自身の取組やかかわりを振り返り、見直しの視点を明らかにするとともに、今後の取組の改善につなげられればと考えます。

	児童					保護者					教職員				
	質問項目	○	●	△	▲	質問項目	○	●	△	▲	質問項目	○	●	△	▲
か	がっこうは たのしい。	68↑	21↓	6	5	わが子が楽しく通学できるよう学校での楽しかったことを中心に家庭で話題にしている	42	52	5	1	すべての子どもが、楽しく学校生活を送れるよう環境づくりをしている。	35↑	60↑	5	0
	じぶんから すすんで あいさつをしている。	44	32	19	5	家族間でもあいさつをするよう心掛けている。	68	30	2	0	自分からあいさつができるように声かけをしている。	30↑	60↓	10	0
つ	はやねはやおきをし まいにち あさごはんをたべている。	48↓	35↑	13	4	わが子が、早寝・早起きをし、毎日朝ごはんを食べるようにしている。	62	33	5	0	心と体のアンケート結果を指導に生かしている。	22	56	22	0
	きまりややくそくを まもって たのしくせいかつしている。	57	36	6	2	家庭での決まりや約束を決め、守らせている。	40	55	5	0	子どもが、きまりや約束を守って生活できるよう、桂川スタンダードの実践を進めている。	42↓	53	5	0
	じぶんのことは じぶんできめ よいこうどうができる。	48	41↑	9	2	わが子が、できるだけ自分で考えて正しく判断し行動できるように働きかけている。	34↓	60	6	0	子どもが、自分で考え、正しく判断し、行動できるよう支援している。	35↓	60	5	0
ら	ともだちを たいせつにし なかよくしている。	77	21	2	0	わが子が友達を大切に仲良くするよう働きかけている。	60	39	1	0	互いに思いやり、支え合う学級づくりができている。	29	71↑	0	0
	ともだちの よいところを みつけられる。	52	35	9	4	子供の良さを認め、ほめている。	42	54↑	4	0	子どものよさを積極的に見つけ、ほめている。	50↑	40↑	10	0
が	じゅぎょうは よくわかる。	59↑	34	5	1	わが子が学習を理解しているかを宿題やテストで把握し、支援している。	36	58	6	0	教材研究を充実させ、わかる・できる授業の工夫と実践を日々行っている。	11↓	84↑	5	0
	まいにち かていがくしゅうをしている。	53	28	13	6	わが子に家庭学習する習慣がつくよう働きかけている。	39	49	12	0	日々の授業と連動した家庭学習課題を与え、計画表の点検をしている。	23↓	59↑	18	0
	あさどくしよいがいの じかにも ほんをよんでいる。	46	27	16	11	わが子が本をよく読むように読み聞かせをしたり勧めたりしている。	27	38	33	2	子どもに読書習慣が身につくよう、声かけをしている。	39↑	44↓	17	0
わ	じゅぎょうちゅう ともだちと かんがえをつたえあっている。	40	38↑	16	6	自分の考えをしっかり伝えられるようになるよう励ましている。	36	57	7	0	子ども主体の学び合いの場を設定している。	5↓	68↑	27	0
その他						HP やお便り・参観日などで、学校の様子や教育方針をわかっている。	22	68	9	1	HP や学級通信、懇談会などで、学校の様子や教育方針を保護者に伝えている。	28	56↓	16	0

# アンケート結果について

- ・児童の「がっこうはたのしい」が前回よりも大幅にアップしています。コロナ禍で学級閉鎖や自宅待機を余儀なくされたことも多く、学校での活動や友だちとのかかわりなど、今までは当たり前で見えにくかった、「友だちに会える」「学習することができる」大切に気づいたことも関係していると思います。このポイントが高いことは保護者の方としてもとてもうれしいことではないでしょうか。学校としてもこれほどうれしいことはないです。
- ・保護者の「子どものよさを認め、ほめている」が前回よりも高い評価となっています。学校のみならず、普段の生活の中でも、何かと制限されることが多く、思い通りにできない子どもたちの気持ちに寄り添い、今できることや現状を受け止めるような声かけをたくさんしていただいた結果だと思えます。この状況で頑張っている子どもたち保護者、学校が一体となって支え、認め、後押ししていきたいですね。
- ・教職員の「学校は楽しい」「子どものよさをほめている」の項目が前回と比べ、高い評価となっています。コロナ禍で、学校全体はもちろん、学年単体での行事も激減し、子どもたちの楽しみは減ったのかもしれませんが。しかし、教職員は毎日の授業や子どもたちとのかかわりの中で、「日常の学校生活をいかに楽しくできるか」を考えてきました。また、子どもたちとのかかわりを穏やかで温かくすることで、よさを認め、子どもたちに安心感を与えるべく取り組んできた結果であると思えます。

前回の結果と比べて、今回の結果を分析しましたが、全体を通して、児童と保護者はほぼ変わりませんでした。それは、不安定なこの状況で、温かいご家庭の協力や支えのもと、子どもたちが落ち着いて頑張っているということだと思います。一方学校では、教育環境が大きく変化していく世の中にあり、今までのままではいけないという意識をもち、教育活動に臨んでいます。校外活動や宿泊、運動会などの大きな行事で子どもを育てるのではなく、日々の授業や子どもたちとのかかわりの中でいかに子どもたちに力をつけていくのかというところに大きく舵を切っています。社会の変化に対応しながら、子どもたちに寄り添って、「温かくて穏やかな心」「自分から課題に取り組める力」を育んでいきたいと思えます。

## 学校より

- ・学級閉鎖や自宅待機等で授業日数減に伴う学習の遅れについてのご意見もありましたが、京都市では他の自治体よりも多い年間205日の授業日数となっています。出席停止等で授業を受けることができなかった分をカバーする時間確保はできていると考えています。それでも足りない部分については、授業後の補習等で対応させていただきました。
- ・高学年ではタブレットの持ち帰りをはじめ、Zoomでの健康観察等も進めましたが、全学年でのタブレットの持ち帰り、オンライン授業については、前向きに検討していきます。本校では、低学年から多くの授業でタブレットを取り入れ、持ち帰ることやオンライン授業だけではなく、子どもたちがしっかりと使いこなせることを重視しています。
- ・欠席連絡についてですが、コロナ禍において地域委員への連絡や連絡帳の受け渡しが難しくなったため、年度途中から登校班への連絡はしないということに変更しました。地域委員の方々と連携して進めています。登校班には、時間になったら登校するように指導しています。
- ・さまざまなご意見をありがとうございます。真摯に受け止め、来年度の学校教育活動につなげていきます。

# 自由記述より

たくさんの方からコメントをいただきました。各クラスから何点かずつになりますが、紹介させていただきます。個別のお返事はしておりませんが、気になるところがありましたら学校までお尋ねください。

- ・オンラインが難しくても1人1台タブレットを所有しているのであればそれを持ち帰り家庭学習できるように、など何かしら手立てはあったのではないのでしょうか。プリントをお配りいただけたのは助かりましたが、やはり授業の遅れは気になります。
- ・オンライン先生方には子どもの良いところを見て下さり、子どもが楽しく学校に通えてることに感謝しています。今回は立て続けに学級閉鎖になり学校に行けないこと、子どもはほんとに悲しそうでした。でも家に居ると課題さえやればいだろうという感じになってしまい、ダラダラ過ごす時間が多くて親としては学習面の不安をとっても感じています。他の学校ではオンライン授業をしているところもあるとの話も聞きます。桂川もコロナ禍の学習対応策をどうか宜しく願いいたします。授業をもう少し進めて欲しい。
- ・コロナ関係で自宅待機となった場合、せっかく各自タブレットがあるので、zoomなどを活用した授業をもっと実施してほしい。
- ・今年度より学校連絡にメールやインターネットが活用されるようになり、とても便利になりました。
- ・学校連絡・アンケートにインターネットが活用され、子どもを介さずに学校に提出連絡できるようになり、とても安心して学校とのやりとりができるようになりました。
- ・登校班で班長をつとめさせていただいてますが、「登校時、休む場合は、これまでは班長に連絡をするのが常だったが、連絡なしでも良くなり、来なかったら登校するように」と子供に指導があったそうですが、私の周りでそれを知っていた親はいませんでした（4名に聞きました）。子供にもなぜそうなったか理由の説明がうやむやだったので、うまく伝わっていないことを残念に思いました。現時点でいただけてます、交通整理当番表にも、☆子供達のお休み、間に合わないときは登校班の班長に必ず連絡して下さい。とあります。
- ・連絡ポーチがやり取りされなくなった今、連絡を受けるのは、親の電話番号からで親御さんとのやり取りになります。大切なことなので、親にも別に連絡いただければありがたかったです。新学期もそうなるなら、今一度周知していただければと思います。"
- ・コロナ関係で、学校を休みがちで担任の先生がお忙しい中、おうちのポストに課題を入れてくださったり、補習をしてくださって、補習へのお手紙が添えてあったり、申し訳ない気持ちと感謝の気持ちと、とても嬉しく、学校をお休みしている中でも学校とつながっているような気持ちになりました。ありがとうございます。
- ・漢字の宿題の丸つけが、やる気を起こさせるように工夫がある。
- ・欠席した授業のフォローを休み時間や放課後にしていただけて、きめ細かい対応に驚きました。担任の先生には、負担をかけ申し訳なく思うと共に感謝の気持ちでいっぱいです。
- ・異年齢の交流の場を作ってみてはどうかと思います。コロナ禍で難しい部分もあるかもしれませんが、人との繋がりや切っても切り離すことはできません。せっかくいろんな年齢の子が通う学校なので、年上の子から学ぶこと、年下の子から学ぶことは、机でやる勉強ではない、生きた学びになるということを感じます。
- ・急な予定変更や、学級閉鎖の対応などコロナ禍で日々奮闘していただき先生方には本当に感謝しております。コロナで楽しみにしていた行事がなくなり、コロナ対策で、図書館、鉄棒、遊具、一輪車など使用できない。休み時間は運動場でボール遊びをするか、鬼ごっこ、教室で遊ぶかの3択のようで、もう飽きたと家でよく聞いています。大人が考えているよりもずっと、子どもたちははじめて我慢しています。学校へ行きたいな～というメンタルが少しづつ下がってきているようにも思います。他のご家庭でもちらほらと耳にします。
- ・今年度は(特に3学期は)学級閉鎖も頻発して、通常通りの学校生活が難しい中、出来る限り工夫して頂き、教育の機会の確保に尽力して下さりありがとうございます。子どもたちもコロナ渦の行動制限でストレスがたまっていると思うので、また感染状況が落ち着いてから学習以外の授業、イベントも再開されるのを楽しみにしたいと思います。
- ・クラスの仲が良く、男女関係なく色んなお友達と遊んでいるようで親としても嬉しかったです。宿題やプリントでも、先生から子どもを励ますコメントなど書いて頂き、子どもも張り切って頑張っていました。今年度もお世話になり、本当にありがとうございました！